

事業実績書

1 補助事業の名称

健援隊プロデュース 神池プロジェクト
－健康寿命の延伸と災害に強い町をめざした活動－

2 補助事業の成果

神池地区の住民の方々の生活習慣対応したセルフチェックの定着化の活動による、銃移民の健康意識の上昇や、災害発生時の諸対応と注意すべき健康問題についての知識の定着、取り組みへの自主性がみられるようになった。
詳細は別紙参照（注1）

3 補助事業の内容

(1)実施月日 令和 元年 7月 14日 ～ 令和 2年 2月 23日

(2)場 所 高知県香美市物部町神池地区

(3)参加人員 団体 23名のうち各回6名～22名

(4)事業内容 健康講座の開催・独居訪問・健康体操・フィールドワーク・地域行事への参加
詳細は別紙参照（注2）

4 その他（市民等との協働）

神池地区を訪問し、健康講座や独居訪問、フィールドワークを行うにあたり地域の方々への呼びかけや、本チームの活動の呼びかけの一環で行っている“神池だより”を掲示するための回覧板の使用等に関し、神池地区自治会長である為近初男氏にご協力いただいている。

備考

- 1 複数事業をパッケージ化し一体的に実施した場合は、個別事業ごとに事業実績書を作成してください。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 3 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

(実績報告書添付書類)

団体名： Bravoチーム 健援隊

活動記録 (交通費実績報告)

日時	氏名	活動内容	移動手段	移動経路	移動距離	運賃	交通費
7月14日	大石茄奈	神池防災マップ作製のためのフィールドワーク	小型バス	高知県立大学池キャンパス ↓↑ 神池地区			小型バス1台レンタル 64,800
//	大崎梨奈	//	//	//			//
//	岡田聖也	//	//	//			//
//	梶山莉緒	//	//	//			//
//	上岡麻尋	//	//	//			//
//	串阿紗妃	//	//	//			//
//	田鍋穂佳	//	//	//			//
//	西野みやび	//	//	//			//
//	東晃平	//	//	//			//
//	森本真以	//	//	//			//
//	大久保萌	//	//	//			//
//	加茂樹奈	//	//	//			//
//	川岡はなみ	//	//	//			//
//	川添麻琴	//	//	//			//
//	北添早彩	//	//	//			//
//	見田美月	//	//	//			//
//	下村真白	//	//	//			//
//	田辺優	//	//	//			//
//	福田瑞香	//	//	//			//
//	松倉由依	//	//	//			//
//	横山瑠奈	//	//	//			//
//	吉田裕莉華	//	//	//			//

日時	氏名	活動内容	移動手段	移動経路	移動距離	運賃	交通費
9月14日	梶山莉緒	大柵保育園・小・中学校合同運動会への参加	ジャンボタクシー	高知県立大学池キャンパス ↓↑ 大柵小学校			ジャンボタクシー1台レンタル 32,400
	上岡麻尋	〃	〃	〃			〃
	串阿紗妃	〃	〃	〃			〃
	田鍋穂佳	〃	〃	〃			〃
	西野みやび	〃	〃	〃			〃
	東晃平	〃	〃	〃			〃
9月15日	梶山莉緒	神池地区敬老会への参加	ジャンボタクシー	高知県立大学池キャンパス ↓↑ 神池地区			ジャンボタクシー1台レンタル 32,400
	上岡麻尋	〃	〃	〃			〃
	串阿紗妃	〃	〃	〃			〃
	西野みやび	〃	〃	〃			〃
	東晃平	〃	〃	〃			〃
	森本真以	〃	〃	〃			〃
10月13日	太石茄奈	健康講座の開催とフィールドワーク	小型バス	高知県立大学池キャンパス ↓↑ 神池地区			小型バス1台レンタル 66,000
	岡田聖也	〃	〃	〃			〃
	梶山莉緒	〃	〃	〃			〃
	上岡麻尋	〃	〃	〃			〃
	田鍋穂佳	〃	〃	〃			〃
	西野みやび	〃	〃	〃			〃
	東晃平	〃	〃	〃			〃
	森本真以	〃	〃	〃			〃
	加茂樹奈	〃	〃	〃			〃
	北添早彩	〃	〃	〃			〃
	柴田瑞希	〃	〃	〃			〃
	下村真白	〃	〃	〃			〃
	田辺優	〃	〃	〃			〃
	福田瑞香	〃	〃	〃			〃
	横山瑠奈	〃	〃	〃			〃

11月4日	大石茄奈	神池地区のゆ ず狩りの応援		高知県立大学 池キャンパス ↓↑ 神池地区			小型バス1 台レンタ ル 66,000
	岡田聖也	〃	〃	〃			〃
	東晃平	〃	〃	〃			〃
	川岡はなみ	〃	〃	〃			〃
	見田美月	〃	〃	〃			〃
	松倉由依	〃	〃	〃			〃
	吉田裕莉華	〃	〃	〃			〃
2月23日	大石茄奈	防災訓練への 参加と健康講 座の開催・フ ィールドワー クの成果発表	小型バス	高知県立大学 池キャンパス ↓↑ 神池地区			小型バス1 台レンタ ル 66,000
〃	大崎梨奈	〃	〃	〃			〃
〃	岡田聖也	〃	〃	〃			〃
〃	梶山莉緒	〃	〃	〃			〃
〃	上岡麻尋	〃	〃	〃			〃
〃	串阿紗妃	〃	〃	〃			〃
〃	田鍋穂佳	〃	〃	〃			〃
〃	東晃平	〃	〃	〃			〃
〃	森本真以	〃	〃	〃			〃
〃	大久保萌	〃	〃	〃			〃
〃	川岡はなみ	〃	〃	〃			〃
〃	北添早彩	〃	〃	〃			〃
〃	田辺優	〃	〃	〃			〃
〃	福田瑞香	〃	〃	〃			〃
〃	松倉由依	〃	〃	〃			〃
〃	吉田裕莉華	〃	〃	〃			〃
合 計 (交通費)							327,600 円

※自家用車の移動距離の確認のため、マップファンの計測結果も添付してください。

※自家用車の車賃は1キロメートルにつき29円となります。

【備考】

領収書の添付が困難な交通費（自家用車利用や公共交通機関（バス等）の実績根拠となりますので、活動記録を忘れずに記入してください。（記入例は募集要項8ページ参照）
また事業完了後の実績報告書に添付してください。

別紙

(注1)

2 補助事業の成果

地域訪問時に開催した健康講座や血圧測定、独居訪問など本チームが主体となって実施した活動だけでなく、地域の行事（大柵保育園・小・中学校合同運動会、敬老会、神池周辺地域の合同災害訓練への参加や、ゆず狩りの応援など）への参加をとおして住民との交流を図ることができた。また、年間を通して地域の回覧板を利用させていただき、本チームが独自に作成した“神池だより”を掲示することで、活動の周知を行うことができた。その結果、継続して本チームの活動に参加してくださる住民が増加し、周辺地域の方からも「来年度は是非うちでもやってほしい」というお声を頂くことができた。

地域の健康寿命の延伸を最終目標として住民のセルフチェックの定着化を図った“健康チェック表”の配布に関しては、昨年度に引き続き作成するとともに住民の要望に沿ってレイアウトや内容を変更することで、より住民が主体的に継続しやすいものを提供することができた。そのことで、この健康チェック表への記録を日常的に継続してくださる住民が増加した。実際にかかりつけの病院を受診する際に健康チェック表を持参し、記録してあるデータをもとに薬の量を減らすことができたという方もいらっしやった。

災害に強いまちづくりを目指して、その第一段階として行ったフィールドワークで得た情報をもとに作成した“Bravo チーム健援隊オリジナル 神池備えちよきマップ”は住民の方に、「色遣いがみやすい」「イラストがわかりやすい」などと好評だったものの、「みやすいが、ざっくりとしすぎていて正確にわからない」などのご意見もあり、今後の課題であると考えられる。また、セルフケア能力の向上を支援する人材の育成を目的として、7月～8月にかけて山田高校の学生に9月の本チームの活動への呼びかけを行った。しかし、その際参加希望者がおらず、その後の活動に関しては地域の方々の行事や日程等の都合がつかず再度募集をかけることができなかった。したがって、いかに中・高校生の興味関心を得るのか、どのように呼びかければ活動の魅力が伝わるのかなどを再検討する必要があると、“神池備えちよきマップ”の改良と共に今後の課題であると考えられる。

(注2)

3 補助事業の内容

(4) 事業内容

- 第1回 7月14日 神池地区フィールドワーク、独居訪問
- 第2回 9月14日 大柵保育園・小・中学校合同運動会への参加
- 第3回 9月15日 神池地区敬老会運営補助、健康講座の開催（講座内容：肺炎予防・パタカラ体操・静脈血栓症予防）、神池地区フィールドワーク、独居訪問
- 第4回 10月13日 健康講座の開催（インフルエンザ予防）、神池地区フィールドワーク
- 第5回 11月4日 ゆず狩りの応援
- 第6回 2月23日 神池近隣地域合同災害訓練への参加と運営補助、健康講座の開催（講座内容：止血法・静脈血栓症予防・パタカラ体操）、神池地区フィールドワーク成果発表

具体的な活動内容としては、健康講座の開催、フィールドワーク（その情報をもとに“神池備えちよきマップ”の作成と配布）、高校生への活動の参加呼びかけを行った。これらは昨年度の活動時に地域住民と共同で立案したものであり、随意地域住民の意向を確認するとともに、活動内容の進捗状況によって変更しながら行ったため、計画書のものと異なる。

①健康講座

健康講座に関しては、住民の要望や季節に応じて対策が必要な健康問題を中心とした内容の講座を実施し、参加者には講座終了直後と次回訪問時に復習問題（4択クイズ形式のもの）に回答してもらい、その解説を行うことで知識の定着を図った。私たちが一方的に講座を行う形ではなく、参加して下さった地域の方が主体的に学ぶ参加型の講座を展開し、主体性を重視した。講座内容に関しては、住民が住み慣れた土地で長く健康に生活し続けられるように、その季節に応じて注意が必要であると思われる内容のものや、災害時に重要であると思われる健康問題に関するものを中心に住民のニーズに基づいて設定した。また、講座内容を分かりやすくイラストなどを用いてまとめた資料を参加者に配布、消防屯所に保管用として数部置かせていただくことでいつでも講座内容を復習することができるようにした。

また、各回において参加住民の方にアンケートを記入していただき、満足度や改善点、その他要望などを調査し次回の講座を開催するにあたって改善を行った。健康講座終了後には、地域住民を本チームのメンバーとの懇話の時間をもうけ、講座内容に関する質問や住民のお悩み、健康チェック表などに関する意見交換や相談を気軽にできる環境づくりを心がけた。

②フィールドワーク

災害に強いまちづくりを行う前段階として、今年度は地理的に神池地区を知り直すことを目的として、7月～10月にかけてフィールドワークを行った。（計画当初は7月のみであったが、1回のフィールドワークでは十分に情報収集が行えないと判断したため、その後地域訪問時にフィールドワークを数回に分けて実施した。）フィールドワークでは、自分たちが実際に地域を歩き、日常的に危険だと感じた場所や、雨天時・災害発生時などに注意が必要だと感じた道、実際に土砂崩れが発生している箇所、危険個所に指定されている場所などを地図上にマークし、写真と共に学内保存用マップとして一枚の地図上に記録した。それは、自分たちの今後の活動展開につなげるとともに住民に対して災害発生時避難計画やイメージの再考を促すために作成したものである。

その後、学内保存用マップをもとにして、色使い、危険個所のわかりやすさなどを重要視し、手書きのイラストや文字で“神池備えちよきマップ”を作成、神池周辺地域合同災害訓練の参加者に配布した。今年度は、マップの作成・配布をし住民と共に危険個所の把握を行うことしかできなかつたため、今後このマップやフィールドワークでえた情報をもとに住民と共に避難計画を立てるなど具体的な取り組みができるように活動を展開していく。

③高校生への参加呼びかけ

計画当初、チーム内で検討し香美市の高等学校に募集をかけることにし、まず9月14日と15日の活動に関して7月下旬に資料を郵送し、山田高等学校に活動参加の募集を行った。しかしながら、参加希望者がいなかった。これは本チームの活動日(14日)が1・2年生の学校の行事と重なっていたことも原因であると考えられるが、15日の活動への参加希望などもなかったため、本チームの活動への関心を得ることができなかったことが大きな課題であるといえる。今年度は、地域の方のご都合も関係して、その後の呼びかけを行うことができなかったため、どのようにすれば活動の魅力が伝わり、興味関心を得ることができるのかを、今後も継続して検討する必要がある。